



海洋プラスチックごみ

ワークブックの

P.9~10の

ないよう
内容です。

このワークシートは、あだち^{かんきょう}環境
学習^{かくにん}サイトやワークブックでの学
習を確認するためのものです。
学んだことをふり返って、行動に
つなげよう！



年 組 番 名前

①マイクロプラスチックとは、海の中をきれいにするための、石けんのようなものである。○か×か。

A. _____

②まちで^すポイ捨てされたごみが
海までたどりついたものは、
海ごみとは呼ばない。
○か×か。

A. _____

③正しいと思う方に○をつけましょう。

海ごみが増えることは、海の生き物が
(増える・減る)ことにつながります。



A. _____

④海ごみを減らすための工夫^{くふう}として正しくないと思うものをa~cから1つ^{えら}選びましょう。

- a. ビニールぶくろをもらわず、エコバッグ^{りょう}を利用する。
- b. ごみ箱に入りきらないごみをごみ箱の横^おに置いておく。
- c. マイはしや水とうを持ち歩く。



A. _____

⑤まち中のごみ拾いをするこ
とは、海ごみを減らすことにつ
ながる。○か×か。

A. _____



ボイアン・スラットの計画

オランダのボイアン・スラット^し氏は海流の力で
ごみを海上のフェンスに集め、船^{かいしゅう}に回収する計
画に取り組んでいます。この計画は、船で^{かいけつ}ごみ
を追いかける今までの方法^{ほうほう}よりも効率^{こうりつ}が良い
のですが、海底^{かいてい}のごみは回収^{かいしゅう}できない等、解決^{かいけつ}
しきれない問題^{かいてい}もあります。まずは、回収^{かいしゅう}しな
ければならないごみを減らすことが大切です。



海洋プラスチックごみ

かいせつ
答えと解説

ワークブックの

P.9~10の

ないよう
内容です。



年 組 番 名 前

①マイクロプラスチックは、ビニールぶくろやペットボトルなどのプラスチックが小さく砕けたものです。魚がエサとまちがえて食べてしまうことがあるので、私たちの食事にも影響があります。

A. ×

②雨風によってまちから海にたどりついたものや、外国から流されたものも海ごみです。

A. ×

③海ごみの影響で、産卵場所が減ったり、大量の魚が死んだりして、魚たちの数が減ってきています。

A. 減る

④a→海ごみになる可能性があるごみを減らす工夫が大切です。

b→外で出たごみを捨てる場所が無い時は、持ち帰るようにしましょう。

c→使い捨てではなく、くり返し使えるものを使うと、リデュースになります。



A. b

⑤まちのごみが川へ、川のごみが海へ流れていくことがあるので、まちをきれいにするには海をきれいにするにつながります。

A. ○

